

# 岩手県の事業概要 ～岩手医科大学附属病院～

## 【1】地域概要

- ・自治体担当轄課: 岩手県保健福祉部子ども子育て支援室
- ・児童数(0～18歳): 181,577人(令和元年(2019年)岩手県人口移動報告年報)
- ・児童精神科系 医師数: 不詳
- ・児童精神科のある医療機関数・入院病床・病棟数: 不詳

## 【2】拠点病院・機関概要

- ・拠点機関名: 岩手医科大学附属病院・事業実施科名: 児童精神科
- ・事業開始年: 2018(平成30)年度
- ・子どもの心の診療機関マップ: 未実施

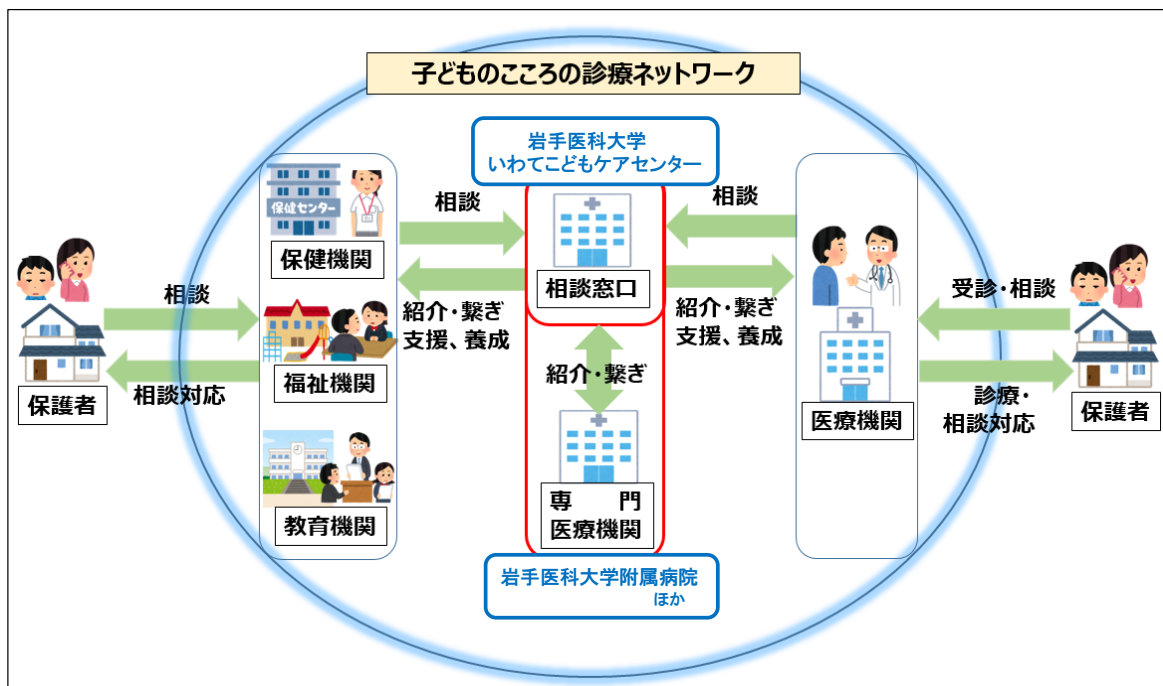
## 【3】事業実施への経緯

東日本大震災の発災以降構築してきた子どもの心のケアに関する支援体制や実践の中で積み重ねてきた知見について、引き続き継続・発展させるとともに、将来的に、被災に限定せず幅広く専門的なこころのケアを提供できる体制を整備するため事業を実施することとした。



岩手県の事業概要

## 【4】事業図



## 【5】実施事業の概要

- ①子どもの心の診療支援〔連携〕事業
  - ア 子どもの心の診療相談窓口の設置  
医療機関、教育委員会、児童相談所、児童養護施設等、関係機関からの子どもの心の診療に関する相談に対応する。相談内容に応じて適切な機関へつなぐとともに、必要に応じて紹介先等の関係機関へ支援を実施する。
  - イ 子どもの心のケアに対応している関係機関との連携会議  
子どもの心のケアに対応する関係機関とのネットワーク構築化に向けた活動、ネットワーク構築のための活動
  - ウ 児童養護施設等への巡回訪問指導・ニーズ調査  
日常的に子どもを支援している児童養護施設等の職員（里親支援専門員含む）に対して、子どもの見立てや関わり方等に関する助言や、医師を派遣してケースコンサルテーションを実施する。
- ②子どもの心の診療関係者研修・育成事業
  - ア 子どもの支援に従事する支援者向け研修会の実施
  - イ 各種講演会等への講師派遣及び関係機関へのケースコンサルテーション
  - ウ 事業担当者や関係機関職員の専門研修等の受講
- ③普及啓発・情報提供事業  
広報・ホームページ等による関係機関への事業への周知と情報提供

## 【6】特徴や特に力を入れている事業内容

- 地域で子どもの心のケアや支援に関わる支援者の育成と専門性の向上
- 子どもの心の診療に関する相談への対応（特に緊急での受診）と関係機関との連携
- 児童養護施設等への巡回訪問指導、研修会およびコンサルテーション
- 初診までの待機期間を減らしていくため、医療機関と地域の関係機関が連携し、タイムリーかつ適切な支援を行えるような体制を作る。

## 【7】事業による効果と思われるもの（H23-27年度からの改善点など）

- 関係機関からの子どもの心の問題に関する相談件数の増加。
  - ・小児科や外科等、精神科以外からの問い合わせが増加。ネットワーク担当者が状況や症状を聞き取り、児童精神科・精神科への紹介、地域資源紹介等に振り分けている。
  - ・教育機関との定例会議に担当者が「医療コーディネーター」として出席。緊急に受診が必要な児童生徒や、事件・事故・自殺事案後の医療機関の受診について相談・調整を行っている。その結果、緊急度の見極めや、重症ケースのスムーズな病院受診の体制が整いつつある。
- 支援者支援
  - ・開催する研修会への関心が高く、参加者が多い。
  - ・支援者育成として、児童養護施設の心理士へ定期的な研修会を実施。心理検査の実施方法や見立て方等の研修を積むことにより、施設内でアセスメントと対応方法の検討ができるようサポートしている。

## 【8】目指す方向性について （今後の予定事業や展望、目標など）

- 少ない医療資源を効率的に活用する仕組み作りを今後も進めていきたい。
  - ・受診が必要なケースのトリアージ体制（複数の子どもの心の専門病院間の実務者間のネットワークづくり）
  - ・発達障害に関しては二次障害を伴わないケースは地域で支える体制作り
  - ・研修等を実施し、地域での対応力を向上させる
- OHPの活用による情報提供
  - ・子どもの心の診療により関心を持ってもらうため、関連する情報のアップデートを行い、ネットワークの構築を図る